

厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表

(1) 各教科の履修効果を評価するために、所定の試験を行います。

試験の種類	実施時期	合格基準
一般試験	科目ごとに履修効果を評価するために 行います。 ・各科目共 1 回以上の試験を行います。	各科目ともに正解率 70%以上 (正解率が 70%に達しないものは追(再)試験を受けること。ただし追(再)試験の正解率は 80%以上とする。) ※1 級自動車整備科 3・4 年次においては、各教科ともに正解率 80%以上
進級試験	各年次終了時履修した科目について評価するために 行います。 ・後期授業終了後行います。	各科目ともに 正解率 70%以上
修了試験 卒業試験	修業期間を通じて履修した科目について評価するために 行います。 ・卒業・修了年次授業終了後行います。	※1 級自動車整備科 3・4 年次においては、各教科ともに正解率 80%以上

《受験資格》

一般試験	①出席時間数が試験科目ごとに定められる履修時間を下回らないこと ②実習記録及び指示された提出物等に未提出が無いこと ③授業料等の納入金が未納になっていないこと
進級試験 修了試験 卒業試験	・全ての一般試験に合格していること

進級試験や卒業試験・修了試験以外にも、随時一般試験が行われ、授業態度、出席状況等を考慮して判定されます。

当校での成績評価基準は、科目ごとの目標レベルの到達度で、この到達度に応じて「5」「4」「3」「2」「1」の5段階で評価します。

採点	評価
100～90点	5
89～80点	4
79～70点	3
69～50点	2
49点以下	1

(2) 各本科で定める一定の要件を満たすことができなかった場合には、1ヶ年以上卒業が遅れることがあります。

・留年の判定は、次のように行います。

(ア) 進級時

進級判定時点で、各本科で定める一定の要件を満たしていない場合には、次学年へ進級できず、その学年をやり直すこととなります。

(イ) 卒業（修了）時

卒業時に各本科で定める卒業要件のすべてを満たしていない場合には、卒業できず、その学年をやり直すことになります。

(3) 追（再）試験は次のように行います。

- ① 学生が疾病その他やむを得ない事由により、定められた期日に試験を受けることが出来なかった科目については、本人の願い出により追（再）試験を行う。
- ② 学生が試験に合格しなかった科目については、本人の願い出により追（再）試験を行う。

(4) 追（再）試験の手続きその他の事項は次の通りとする。

- ① 追（再）試験の日時、場所及び方法は学校が指定する。
- ② 追（再）試験を受けようとする者は、1科目ごとに所定の試験料を添え、欠席理由を明記した追（再）試験願を提出しなければならない。
- ③ 疾病ややむを得ない事由により、追（再）試験を欠席する場合は欠席理由を明記した追（再）試験延期願を提出しなければならない。
- ④ 追（再）試験の合格基準は正解率 80%以上とする。ただし、進級試験、卒業試験・修了試験については正解率 70%以上とする。（1級自動車整備科 3・4年次の合格基準は全て 80%以上とする）

追（再）試験願	
横浜テクノオト専門学校 校長 佐藤 健一郎 殿	
第 _____ 期	_____ 科
学 年・組	_____ 年 _____ 組
学 籍 番 号	_____
氏 名	_____
下記試験済みの追（再）試験をお願いします。	
科 目 名	
担 当 者	_____ 先生
試 験 日	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
理 由	
出 願 日	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

追（再）試験延期願	
横浜テクノオト専門学校 校長 佐藤 健一郎 殿	
第 _____ 期	_____ 科
学 年・組	_____ 年 _____ 組
学 籍 番 号	_____
氏 名	_____
下記の追（再）試験の延期をお願いします。	
科 目 名	
担 当 者	_____ 先生
試 験 日	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日
延 期 理 由	
出 願 日	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日